

## testo Saveris 2/testo 160

測定設定手順

アラーム設定手順

## step1

Testoクラウドにログインをして、  
設定→データロガーをクリック。  
その後、対象のデータロガー右側の  
**詳細** ボタンをクリック。

## step2

下図と説明を参考にして必要な項目を設定。

Saveris 2 Basic ライセンス 未読アラーム  Account Ov

ダッシュボード 分析 & レポート アラーム 設定

データロガーの表示

データロガー名	データロガーモデル	電池	WiFi	測定点	シリアル番号	ファームウェアバージョン	測定値
H1_54660979	H1			H1_54660979	54660979	v01.34	25.6 °C 54.9 %rF

ユーザー管理  
ユーザー  
アカウントID  
測定点  
測定点グループ  
エリア  
データロガー  
ファームウェアアップデート

シリアル番号	ファームウェアバージョン	測定値	直近の数値 :	<input type="checkbox"/> すべて選択
54660979	v01.34	25.6 °C 54.9 %rF	30/11/22 10:17:03	<input type="checkbox"/> <b>詳細</b>

測定間隔と通信間隔

測定間隔  
測定間隔 : 長いほど電池が長持ちします。  
15 Min.

データロガーが測定値を記録する間隔です

通信間隔  
通信間隔 : 長いほど電池が長持ちします。  
17:00:00 - 01:00:00 (8 h)  
30 Min.

データロガーがクラウドにデータを送る間隔です



省電力モード  
オフ オン  
開始日 : 午前1時0分 終了日 : 午後5時0分  
2 h

データロガーの通信間隔を任意の時間帯で変更可能です。  
間隔を大きくすることにより電力消費を抑える事が可能です。

## step3

チャンネル=測定項目です。温湿度プローブの場合露点  
温度や絶対湿度の**有効/無効の切り替えが可能**

### チャンネル

温度 (°C) 外付け		無効にする
相対湿度 (%rF) 外付け		無効にする
露点 (°C td) 外付け		有効にする
絶対湿度 (g/m³) 外付け		有効にする

## step4

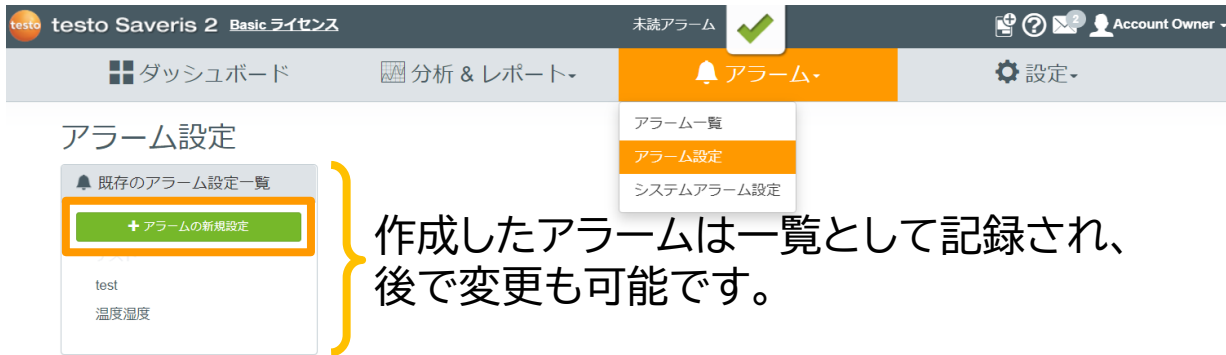
変更を加えると下図のポップアップが表示されるので  
「変更を保存」をクリック  
その後データロガー本体のボタンを短く1回押す



# アラーム設定（測定値のしきい値逸脱時のアラーム）

## step1

アラーム→アラーム設定をクリックし、画面左側の「アラームの新規設定」をクリック



The screenshot shows the 'testo Saveris 2 Basic ライセンス' interface. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', '分析 & レポート', 'アラーム', and '設定'. The 'アラーム' menu is expanded, showing 'アラーム一覧', 'アラーム設定', and 'システムアラーム設定'. On the left sidebar, under 'アラーム設定', the '+ アラームの新規設定' button is highlighted with a green box. Below it, a list of existing alarms is shown, including one named 'test' with the label '温度温度'.

作成したアラームは一覧として記録され、後で変更も可能です。

## step2

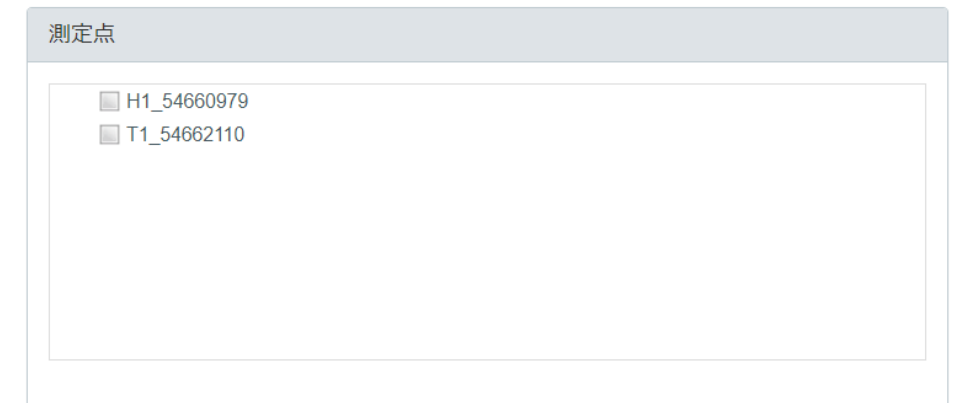
タイトル（任意）を入力  
（例として `温度` という名称の温度アラームを作成します。）



The screenshot shows the '温度温度' alarm configuration form. It has a toggle switch for 'オン' (On) and 'オフ' (Off). The 'タイトル\*' (Title) field is filled with the text '温度'.

## step3

アラームの対象とするロガーを選択



The screenshot shows the '測定点' (Measurement Point) selection screen. It contains two checkboxes with labels: 'H1\_54660979' and 'T1\_54662110'.

## step4

しきい値を入力  
入力した値が“●<°C<●”で表示（湿度の場合も同様です）

アラームのしきい値 1

温度 (20 < °C < 30)

	しきい値 (下限)	しきい値 (上限)
しきい値	20 °C	30 °C

相対湿度 (20 < %rF < 70)

選択のみ表示

## step6

アラームの通知先にチェックを入れる  
（Basicの場合追加3名まで）

Eメール受信者

名	Eメールアドレス
<input checked="" type="checkbox"/> アカウント所有者 (Eメール)	testo.cloud.demo3@gmail.com
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>

受信者を追加

Name  Eメールアドレス

+追加

## step5

センサー故障等の問題発生時のアラーム設定をチェックを入れることにより設定

チャンネルのアラーム

センサー故障

## step7

変更を加えると下図のポップアップが表示されるので  
「変更を保存」をクリック  
その後データロガー本体のボタンを短く1回押す

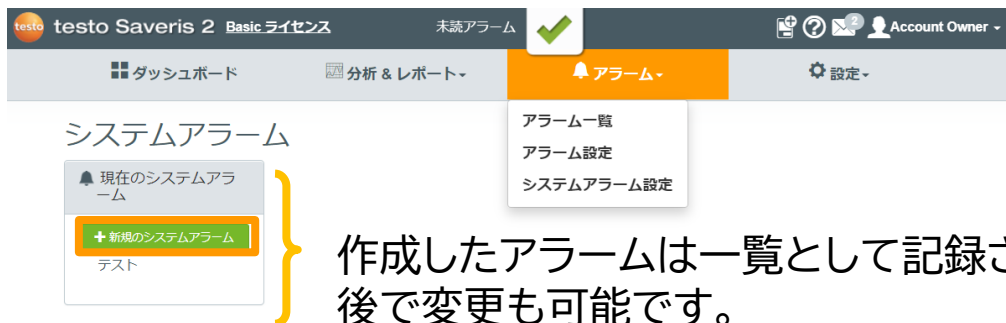
保存されていない変更があります。

中断

変更を保存

## step1

アラーム→システムアラーム設定をクリックし、画面左側の「新規のシステムアラーム」をクリック



作成したアラームは一覧として記録され、後で変更も可能です。

## step2

タイトルを入力

The screenshot shows a form titled 'テスト'. It has a 'タイトル\*' field with the text 'テスト' entered.

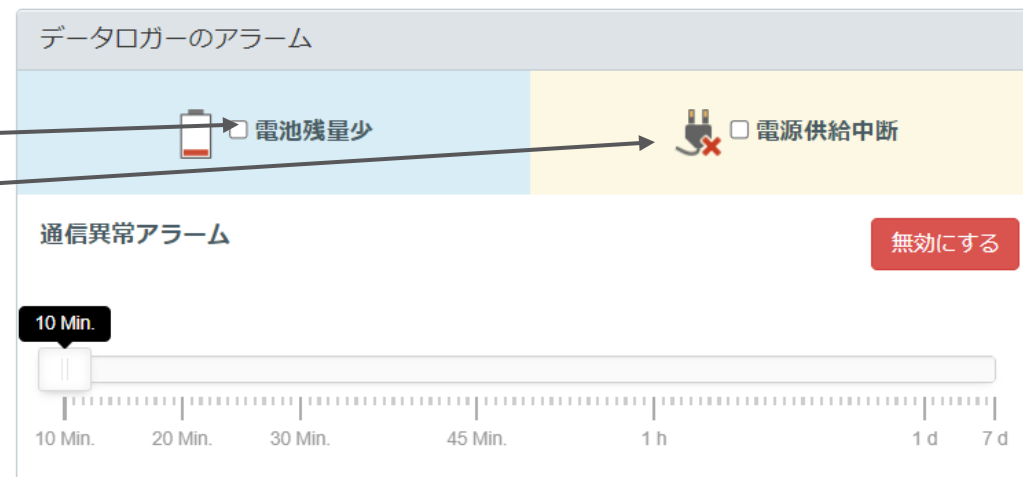
## step3

ロガーの電源によって項目をチェック

➤ 乾電池運用 = 電池残量少

➤ AC電源供給運用 = 電源供給中断

通信異常アラームは右の「有効にする」ボタンを押した後下のスケールにてどれくらいの期間通信異常があったらアラートを上げるとい設定が可能です。



## step4

アラームの対象となるロガーを選択

データロガー

- T1\_54662110
- H1\_54660979

## step5

アラームの通知先にチェックを入れる  
(Basicの場合3名まで追加可能)

メール受信者

名	Eメールアドレス	
<input checked="" type="checkbox"/>	アカウント所有者 (Eメール)	testo.cloud.demo3@gmail.com
<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="button" value="削除"/>
<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="button" value="削除"/>

受信者を追加

Name  Eメールアドレス

## step6

変更を加えると下図のポップアップが表示されるので「変更を保存」をクリック  
その後データロガー本体のボタンを短く1回押す

保存されていない変更があります。